

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立成瀬中学校
-----	------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・短答形式の問題に対しては正答率が高いこと。 ・一問一問を正確に解く力が身に付いている生徒が多いこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の特徴や使い方に関すること。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができる。 ・事象の事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例を上げることができるかどうか見ることができる。 ・目的において式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明すること。 ・不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの事象から生じた疑問や問題を解決するための課題を設定すること。 ・実験等のまとめから新たな疑問や生活との関わりについてまとめること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音に関する知識を活用し、より確かな考察とするための実験を考え、結果を予想すること。
質問調査	<ul style="list-style-type: none"> ・自分には、よいところがあると思っている人が多い。 ・人が困っているときは、進んで助けている。 ・人の役に立つ人間になりたいと思っている。 ・これまでの生活の中で、豊富な自然体験や自然観察を経験しているため、中学校の学習に活かされている。 ・学習に対して、粘り強く取り組み、最後まで考え解答する姿勢を持った生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを実生活に結びつけて、考えたり、生かしたりすること。 ・ICT機器を使って学習内容を、整理したり、発表資料を作成すること。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題の全体を見渡し、最後まで解答を終えられるよう見通しを立てられるようにする。正確に解くことと、早く解くことの二点を大切にすることを引き続き指導していく。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎問題は解くことができるが、応用問題となると手が止まる生徒が多い。また、数学的な表現に慣れていない生徒が多い。そのため、数学的な表現を多く使いながら授業をするように努める。 <p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した知識や技能が身のまわりの事象のどのような場面で利用されているか、考えることができている。一方で、必要な対照実験を考えたり、その結果を考えることが苦手としている生徒が多い。必要な結果を得るための逆算的な思考や実験を考えられるような時間を増やしていきたい。
--

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方にとってほしい内容

<ul style="list-style-type: none"> ・日頃より学校の活動にご理解、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。 ・子どもたちは自分に自信を持ちながら、学校生活を送っているようです。特に、他に対して、優しく接し、進んで助けること、人の役に立つことに意義を感じているようです。また、この気持ちを活かしながら、地域に社会貢献をするには何ができるのかなど、広い視野をもった活動を期待します。
--